

1 単元(題材) 見直そう食事と生活のリズム

2 教科の目標

栄養のバランスを考えた食品のとり方が分かり、朝食を中心にして、自分の食生活や、生活のリズムを見直すことができるようにする。

3 活用したICT

デジタルカメラ 電子黒板 プロジェクタ

4 活用したICTの特性

- 調理実習で作った料理のように、時間をおいて振り返ることができないものに対し、映像として記録保存することができる。(デジタルカメラ)
- 映像を拡大表示したり、書き込みを加えたりしたりして、子どもの思いが込められている部分だけを焦点化することができる。(電子黒板)
- 拡大提示し、皆で映像を共有することができる。(プロジェクタ)

5 実践の様子

- 自分の課題を明確にもてるように「家族を笑顔にする朝食」にするためにはどうしたらよいかを考えた。
- 考えたことを基に、野菜炒めといり卵の調理計画を立て、調理実習を行った。作った料理はデジタルカメラで記録した。(資料①)



- グループごとに「ニコニコプレゼンシート」(資料②)を用いて各自の考えを基に、「家族を笑顔にする朝食」の提案を考えた。

- ア 各自の課題を共有し、グループの課題を設定した。
- イ 記録した調理の写真の中から、自分の思いを伝えるのに効果的な写真を4枚選んだ。
- ウ 選んだ4枚の写真で何を伝えるのかを考え、映像に合う言葉を40字に制限し原稿を考えた。
- オ 電子黒板で、映像のどこを焦点化するかを考え、プレゼンの練習に取り組んだ。

2 写真を選んで並べ、スライドの構成を考えましょう。			
写真	写真	キャプション	原稿(40字以内)
はじめ		いつもみんなが笑顔で朝食を作ります。	いつもみんなが笑顔で朝食を作ります。
なか		みんなが笑顔で朝食を作ります。	みんなが笑顔で朝食を作ります。
おわり		みんなが笑顔で朝食を作ります。	みんなが笑顔で朝食を作ります。

- 授業参観で、家族に「家族を喜ばせたい」という思いが伝わるよう、「家族を笑顔にする朝食」についての提案を、電子黒板を使ってプレゼンした。(資料③)最後に、家族からプレゼンに対して評価ももらった。

6 成果と課題

- 調理実習で作った料理を映像として記録保存することで、ゆっくり自分の調理について振り返りができ、自分の食生活や生活のリズムを見直すことができた。また、プレゼンでは、記録した映像をプロジェクタや電子黒板と組み合わせて使うことで、自分の思いを伝える手段として活用することができた。
- 電子黒板をプレゼン活動で用いることで、映像に対し、どこを拡大表示したらいいのか、書き込みを加える必要があるかどうかなどを考えることで、子どもの思いが込められている部分が明確になり、自分の思いが伝わるプレゼンを行うことができた。
- 電子黒板の機能を使えさえすれば、立派なプレゼンになると勘違いしている子どもは、必要のないところまで書き込みを加えている様子が見られた。「映像をどのように活用すると、より自分の思いが相手に伝わるのか」と、電子黒板で操作する意味をしっかりと踏まえさせる必要があると感じた。映像をもっと有効活用できるようにしていきたい。

